



Q1 子宮がん検診や乳癌検診は女性医師ですか

乳腺触診やマンモグラフィ、乳腺エコーは女性医師・女性検査技師が担当しています。
婦人科医は当番制で担当しています。予約の際にご相談ください。

Q2 生理中ですが、婦人科検診は可能ですか

出血量が多い時は、避けてください。生理中の方に限り、婦人科検診と検便は後日（おおむね7日以内）の受診が可能です。

Q3 マンモグラフィと乳腺エコーはどちらがいいですか

血縁者に乳がんを発症された方がおられる場合は、リスクが高いと考えられますので、両方受けられることをおすすめしています。それ以外の方は、40歳未満の方はエコー、40歳以上の方はマンモグラフィを、もしくは1年毎に交互で受けていただければよいかと思います。また、授乳中の方は、乳腺が張った状態でのマンモグラフィは画像的に診断精度が落ちますので乳腺エコーでの検査をおすすめします。
治療中や経過観察中の方は、主治医に相談して決めていただくのがよいと思います。

Q4 妊娠中ですが、ドック受診は可能ですか

まずは、主治医にご相談ください。
安全性に配慮すれば、出産後の受診をおすすめします。
受診される場合は、一部お受けできない検査もございます。別表をご参照下さい。

Q5 授乳中ですが、ドック受診は可能ですか

一部検査に制限がございます。別表をご参照下さい。

別表		妊娠中または妊娠の可能性のある方	授乳中の方
X線検査	胸・腹部	不可	可
	骨密度		不適(Q3参照)
	マンモグラフィ		
胃カメラ		不可	口のみ可
胃トウシ(バリウム)		不可	断乳が必要です
子宮癌検診		不可	可
MRI(脳ドック)		不可	可
CT(肺ドック、内臓脂肪)		不可	可
PET/CTドック		不可	不可

Q6 HPV（ヒトパピローマウイルス）検査って何ですか

婦人科検診を受ける方対象としたオプション検査です。

細胞診検査と HPV 検査を併用することで、子宮頸がん発見の精度が向上します。

また、将来がんになるリスクもわかります。

受診予定日の 2 週間～1 ヶ月前に当院ドックセンターより案内の封書を送付しております。

当日の注意事項や持参して頂くものなどの記載がございますのでご参照ください。

上記 Q&A につきましては、2019 年 5 月現在のものですので、変更が生じている場合があることもご了承ください。

お問い合わせやご予約時、事前送付書類にて最新のものをご案内させていただきます。